

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【公表番号】特表2006-511626(P2006-511626A)

【公表日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2006-014

【出願番号】特願2003-584189(P2003-584189)

【国際特許分類】

<i>C 09 D 123/00</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 D 5/03</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 D 7/12</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 D 125/06</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 D 191/06</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>C 09 D 201/00</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>C 09 D 123/00</i>
<i>C 09 D 5/03</i>
<i>C 09 D 7/12</i>
<i>C 09 D 125/06</i>
<i>C 09 D 191/06</i>
<i>C 09 D 201/00</i>

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月6日(2006.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

ポリオレフィンワックスを製造するためのまたは熱分解のために使用されるポリオレフィンポリマーを製造するためのメタロセン触媒は式 M^1Lx で表されるキラルなまたは非キラルな遷移金属化合物である。遷移金属化合物 M^1Lx は少なくとも1つの - リガンド、例えばシクロペニタジエニル - リガンドが結合している少なくとも1つの中心金属原子 M^1 を有している。更に、中心金属原子 M^1 は置換基、例えばハロゲン原子、アルキル、アルコキシまたはアリール基が結合していてもよい。 M^1 は元素周期律表の第 III、IV、V または VI 主属の元素、例えば Ti, Zr または Hf であるのが好ましい。シクロペニタジエニル - リガンドとは非置換のシクロペニタジエニル基および置換されたシクロペニタジエニル基、例えばメチルシクロペニタジエニル、インデニル、2 - メチルインデニル、2 - メチル - 4 - フェニルインデニル、テトラヒドロインデニルまたはオクタヒドロフルオレニル基を意味する。 - リガンドは橋架けされていてもまたは橋架けされていてもよく、その際に単一および多重ブリッジ(環系によるブリッジも含む)の両方が可能である。“メタロセン”とは、1つより多いメタロセン - フラグメントを含む化合物、いわゆる多核メタロセンも含む。これらは任意の置換パターンおよびブリッジ変種を有してもよい。かかる多核メタロセンの個々のメタロセン - フラグメントは互いに同一でも異なるっててもよい(ヨーロッパ特許出願公開第0,632,063号明細書(A))。